

那加三だより

那加第三小学校
学校だより
R3. 7. 19



学校の教育目標 「かしこく ゆたかに たくましく」

←学校ホームページで、子ども達の姿をご覧ください <http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

那加三小のやさしさの原風景

個人懇談が始まって、先週は一斉下校が続きました。下足箱を出たところでは、高学年の人が、1年生の皆さんを待っている姿がありました。那加三小では、一斉下校のとき、通学班の高学年の人が1年生の皆さんを迎えに来て、一緒に下校する習慣があります。

高学年の人は、黄色いランドセルを見て1年生の姿を探し、1年生の人は通学班で一緒に、お兄さんやお姉さんを探しています。高学年の人が、1年生の人を待っていてくれる姿もあります。

1年生と高学年で仲良く帰る姿は安心で、とても温かな気持ちになります。高学年の人は、きっと、自分が小さい時に待ってもらったことがあるのでしょう。那加三小の温かさや優しさは、高学年の人が1年生の子を大切にしている姿が、受け継がれているからこそだと感じました。これからも大切にしたいよい姿です。



「原風景」とは、“原点となる風景”のことです。心の奥にしまっておいて、大切なことを思い出す風景でもあります。学校では、いつまでも大切にしたい、子どものよい姿がたくさん見られます。

そして、家庭に帰る夏休み、子どもたちは家庭の中で、よい姿を多く見せてくれると思います。

- ① 家庭でのあいさつ「おはよう、ありがとう、おやすみ」を伝える姿
- ② 運動、学習、お手伝いなど、自分からしようとする姿
- ③ 家族や友達との時間、ひとり時間など、いつもと違う時間を楽しむ姿

保護者の皆様におかれましては、こうした姿を心のワンシーンに留めるとともに、その姿のよさについて、「がんばるね」「いい姿だね」と認め励ましていただきますようお願いいたします。

夏休み中も、家庭や地域で、ボランティアを！

那加三小に4月に着任以来、全校の子どもたちのボランティア活動の姿に驚く日々が続いています。渡り廊下に掲示してある、ボランティア手帳、50回達成者の人数は100人を越えました。

ボランティア手帳には、家庭でのお手伝いや、自分に任せられた毎日の仕事、近所のごみ拾いや、公園の花の水やりなども多く書かれ、学校内のボランティアだけでなく、家庭や地域で子どもたちが活動していることがわかります。

夏休みは、ボランティアに取り組む最高の期間です。子どもたちのボランティアパワーは、家庭や地域をよくする力があります。夏休み中にも家庭や地域でボランティアに取り組み、ボランティアカードや記録をとおして、家族や学校に努力の姿を伝えましょう。

(文責 校長 加藤浩幸)

